

# 平成24年度国際交流人材育成事業 中学生海外派遣

榛東村国際交流協会では、国際感覚を身につけた時代を担う人材の育成に資するため、中学生の海外派遣を行っています。

今年の派遣先は、日本人選手のフィギュアスケートやスピードスケートでの活躍が記憶に新しい、2011年冬季オリンピックの舞台になったカナダのバンクーバー。大きな経験を積み、一回り成長して帰ってきた中学生たちのレポートをご紹介します(順不同)。

## 海外派遣を終えて

**2年 伊藤 里央**  
今回訪れたバンクーバーはとても自然が豊かで、町がきれいな場所でした。

ホームステイ先では、知らない言葉が多すぎてあまり会話にならなかったのですが、ジェスチャーを入れたり、辞書を使ったりして会話が通じた時は、とてもうれしかったです。初めて英語でお昼を注文する時は、何を言われているのかわからず、「Yes」と答え、頼みなかった物以外も出てきてしまったのですが、最後の日にリベンジで同じ物を注文し、頼みなかった物が注文できたときは、ものすごく嬉しかったです。

3日間という限られた時間でしたが、いろいろな事が学べ、私にとっての大切な思い出となりました。次に訪れる機会があるのなら、もっと勉強して今回よりもスムーズ

ズにたくさん会話ができるようにしたいと思いました。

## バンクーバーに行つて

**2年 岩倉 悠太**  
バンクーバーは、カナダの西側にあり、とてもきれいな街でした。日本との違いで驚いたのは、日照時間が長かった事です。夜は9時頃まで明るく、普通に外で遊ぶ事ができました。そして、意外と日本語を話す人や、日本語の看板などが多くありました。

ステイ先のヘンダーソンさんのお宅は、お母さんと6歳の男の子の家庭でした。とても親切にしてくださいました。色々な所に連れて行ってもらいました。お母さんの作る料理はどれもとても美味しかったです。

行く前は、自分の英語が通じるか、相手が何を言っているか理解できるのか不安でしたが、スムーズに会話ができたので良かったです。

もっと長く滞在していたかったです。もう一度バンクーバーに行つて、ホストファミリーに会いたいです。

## 海外派遣に参加して

**3年 上村 優奈**  
私達は8月11日から15日までの5日間、カナダのバンクーバーに行つてきました。初めての海外という事で、とても楽しみでした。

バンクーバーに着くと、まず信号が日本と違う事に気付きました。他にも、見た事のない車や食べ物がたくさん見つけました。そうすると、「今カナダにいるんだな」と実感しました。カナダに来て、一番いいなと思った事は、みんながとてもフレンドリーな事です。ホストマザーは、車に乗っている人や店員さんに普通に話しかけ、色々な事を聞いたり、私達の紹介をしてくれたりしたので、たくさんの人と仲良くなる事が出来ました。だから、緊張して話が出来なかつたという事はなく、自分の分かる単語や学校で習った英語を活かして、たくさん会話が出来たので、悔いの残らない最高のホームステイが出来ました。

## 海外派遣に行つて

**2年 松本浩志**  
海外に行つて自分の英語が通じるか心配だったが、英語圏の人に通じたので良かったです。ホストファミリーの家でも家族の人と一緒に出かけたりして、コミュニケーションが取れました。外貨を使つての買い物では最初は少し慣れなかつたが徐々に慣れて普通に使えました。

海外では日本の違うところをたくさん見つけることができ、たいへん勉強になりました。

## ホームステイをしてみたこと

**2年 村上 結香**  
私は、カナダのバンクーバーにホームステイに行きました。ステイ先でホストファミリーにスーパーマーケットや、ショッピング、散歩、海に連れて行ってもらいました。特にスーパーでの商品の並び方が日本と違うことや、商品が日本より大きいことに驚きました。

その他にも、英語で話すことが大変だったことや、向こうの食事の様子などを学ぶことが出来ました。また行く機会があったら今度はもっと英語を勉強して行きたいと思いました。



2年 村上 結香



2年 上村 優奈



2年 伊藤 里央



2年 松本 浩志



2年 岩倉 悠太

## 海外派遣を体験して

2年 高橋 立樹

僕は今回の海外派遣でいろいろなことを学びました。特に学んだことは、英語です。僕は、英語が苦手だったので、今回の海外派遣に応募しました。ホームステイ先の家で英語を話してみると、意外と言葉が通じました。

海外派遣先のカナダは日本とは違って、日本よりも涼しくて過ごしやすい天気でした。

僕が行ったホームステイ先のご飯は、あまり日本とは変わらず和食ができました。僕はもつと麺類やパンがでると思ったのでびっくりしました。でも美味しかったです。海外派遣は楽しかったのですが、もう一度行きたいです。



## ホームステイを体験して

2年 小林 智哉

自分がホームステイを体験して感じたことは、まず「日本語が使えないこと」です。ホームステイ1日目は、ただホストファミリーの話をきいていただけでしたけど、2日目、3日目と、自分から積極的に話せば相手もそれに答えてくれたので、だんだん英語を話すことが楽しくなってきました。

ステイ中に思ったことは、日本とカナダの「私生活の違い」です。一つは、食卓に並ぶのは日本では、ご飯、みそ汁、魚などといった物ですが、カナダではパンやサラダ、シリアルといった洋食系でした。二つ目は、バスルームです。トイレと洗面台があり、お風呂が無くシャワーしかなかったことです。

今後に活かしたいことは、カナダに行った5日間をバネに、もつと英語力を磨いて、次に海外に行くときは、外国人と自分が言いたいことをスラスラ言えるようにしたいです。

## 海外派遣を終えて

2年 加藤 徳明

今回の海外派遣で一番印象に残った事は、英語で自分が伝えたい事が伝えられたという事です。ホストファミリーにプレゼントを渡して短い会話ができたり、出かけた、トイレに行きたいなどを伝えることもできました。買い物

をしている時に店員さんに、「どこからきたの？観光？」などと聞かれても答えることができませんでした。今まで英語を勉強してきた良かったと思いましたが、これで満足せず次はもつと長い会話などでもできるように、勉強を頑張っていきたいです。



2年 高橋 立樹



2年 加藤 徳明



2年 小林 智哉



2年 小川 拓海



2年 茂木 優貴

## 海外派遣を終えて

2年 小川 拓海

僕は今回の海外派遣に応募でき、カナダへ行くことができてとても嬉しいです。カナダは、日本と違って湿度があまりなく、水がきれい、とても自由感があると聞いていました。実際行ってみると、話は本当でいい所でした。しかし、自分の思うとおりに言葉が伝えられず、迷惑をかけてしまった部分がありました。

ホームステイでは、ホストマザーが自分達を家族のように接してくれて、英語が分からなくても、親切にゆつくりと話をしてくれました。また、バスや電車、タクシー等に乗せてもらって、とてもいい経験になりました。

カナダのホームステイはとても思い出に残り、勉強になりました。この海外派遣がずっと続き、海外の面白さをみんなに知ってほしいと思います。そして、今度は英語が伝わるように勉強し、カナダへまた行きたいです。

## 海外派遣に参加して

2年 茂木 優貴

八月十一日、カナダのバンクーバーに到着しました。近代的かつ、自然豊かな異国風景にとっても感動しました。

僕がお世話になったホストファミリーは、両親と十五歳の男の子の三人家族でした。三人共とても

優しく、僕達を歓迎してくれました。一番心配していた言葉の壁は、何とか乗り切ることが出来ました。また、楽しみにしていた食事は、どれも美味しかったです。夕食に出してもらったライスが甘いのにとても驚き、改めて食文化の違いを感じました。

これからも外国の風習や文化・言葉について勉強し、今回の体験も含め今後いろいろな方面で生かして行きたいと思っています。

最後に今回の海外派遣に参加させてくれた両親に感謝したいと思います。貴重な体験をありがとうございました。

